

1. 略歴

- | | |
|------------|--|
| 1988 年 3 月 | 東京大学文学部国文学専修課程卒業 |
| 1988 年 4 月 | 東京大学大学院人文科学研究科国語国文学修士課程入学 |
| 1991 年 3 月 | 同 修了 |
| 1991 年 4 月 | 東京大学大学院人文科学研究科国語国文学博士課程進学 |
| 1996 年 3 月 | 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻日本語日本文学
専門分野博士課程単位取得退学 |
| 1996 年 4 月 | 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻日本語日本文学
専門分野研究生（～1997 年 3 月） |
| 1998 年 4 月 | 博士（文学）学位取得（東京大学）
東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻日本語日本文学専門分野博士課程修了 |
| 1998 年 4 月 | 関西学院大学文学部専任講師 |
| 2002 年 4 月 | 関西学院大学文学部助教授（2007 年 4 月より准教授） |
| 2008 年 4 月 | 関西学院大学文学部教授 |
| 2013 年 4 月 | 東京大学大学院人文社会系研究科准教授 |
| 2017 年 4 月 | 東京大学大学院人文社会系研究科教授 |

2. 主な研究活動

a 專門分野

平安文学、源氏物語、物語史

b 研究課題

源氏物語は、平安前期に成立した長編物語・歌物語・和歌の発想を基盤とし、日記文学・漢詩文・史実等を貪婪に吸収して成立したと思われる。そこに到りつくまでの文学史的な動態、及び、源氏物語それ自体の構造や表現の分析を主な研究課題としており、初期の成果は『源氏物語の思考』（風間書房、2002年、第五回紫式部学術賞受賞）にまとめた。また平安時代の人々の思考や発想の形式にも関心を寄せており、和歌の贈答の分析を通した意思伝達の呼吸などについて、『女から詠む歌 源氏物語の贈答歌』（青簡舎、2008年）に提案、これまでの成果は『源氏物語再考 長編化の方法と物語の深化』（岩波書店、2017年）にまとめた。そのほか、研究成果を一般の人々に分かりやすく伝える仕事として、瀬戸内寂聴訳源氏物語の注釈等の執筆のほか『男読み 源氏物語』（朝日新書、2008年）、『コレクション日本歌人選 和泉式部』（笠間書院、2011年）、『平安文学でわかる恋の法則』（ちくまプリマー新書、2011年）等の一般書も手掛けている。

c 概要と自己評価

故三角洋一氏（本学名誉教授）が執筆途中だった『風葉和歌集』（和歌文学大系、明治書院、2019年）の注釈や解説を補完した刊行に続き、今回は、久保田淳氏をはじめ五名で分担執筆した注釈書『古今和歌集』（和歌文学大系、明治書院、2021年）を刊行した。また、『源氏物語を読む』（岩波新書、2021年）の刊行によって、研究成果の一般への普及にも尽力した。現在は、源氏物語を中心とする平安朝の和歌・日記・歴史等の研究から、より広域に物語と和歌を中心とした古典文学史の再構築に取り組みつつある。

d 主要業績

(1) 著書

共著、藤原克己、長島弘明、渡部泰明、安藤宏、鉄野昌弘、高木和子、『講義 日本文学 〈共同性〉からの視界』(p.43-58、p.91-106、ほか)、東京大学出版会、2021.3

単著、高木和子、『源氏物語を読む』、岩波書店、2021.6

共著、久保田淳、高野晴代、鈴木宏子、高木和子、高橋由記、『和歌文学大系5 古今和歌集』、明治書院、2021.12

(2) 編集（編集責任者）

鈴木宏子、高木和子編『源氏物語を読む』、日本文学研究ジャーナル』、古典ライブラリー、17、2021.3

(3) 論文

高木和子、「源氏物語と紫式部学会」、『武蔵野文学』、武蔵野書院、68、p.21-24、2020.12

高木和子、「類話の累積に見る源氏物語の成立と方法」、『日本文学研究ジャーナル』、古典ライブラリー、17、p.134-146、2021.3

高木和子、「蜻蛉日記における外出と自然賞美——付、「紅葉狩」考——」、『危機下の中古文学 2020』、武蔵野書院、p.341-353、2021.3

高木和子、「風葉和歌集の源氏物語理解——無名草子、物語二百番歌合の系譜から——」、『国語と国文学』、第98巻第5号、p.122-136、2021.5

高木和子、「源氏物語の「数まふ」「後見」「絆」考」、『国文論叢（神戸大学）』、57、p.44-55、2021.11

高木和子、「解説 古今和歌集 四 平安朝の物語・日記における古今和歌集」、『和歌文学大系5 古今和歌集』、明治書院、p.453-461、2021.12

高木和子、「瀬戸内寂聴訳『源氏物語』の生成」、『ユリイカ』、青土社、第54巻第3号（通巻786号）、p.170-177、2022.2

(4) 解説

高木和子、「日本文学（古典）」、『文藝年鑑 2020』、新潮社、p.40-42、2020.7

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

聖心女子大学非常勤講師、2020.4～2021.3

連続講座、毎日文化センター・大阪、「源氏物語を読む」、1999.5～現在

講演、不識庵青天白雲塾、「源氏物語とは何か」、於セミナーハウスフォーリッジ、2021.6.3

特別講演、JPIC オンライン、連続講座「世界の物語を旅する」のうち第二回「源氏物語を読む」、2021.7.10

出演、テレビ朝日、「林修の今でしょ！講座 東大の先生の面白い講義」、2021.12.21 放送分

(2) 学会

中古文学会、常任委員、編集委員

紫式部学会、理事

(3) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

紫式部学術賞（紫式部顕彰会）、審査委員長